

令和3年度よなご大平園事業計画

1. 施設理念

- ・ ノーマライゼーションの実現及びセーフティネットの一翼を担う施設
- ・ 地域の財産となる施設

2. 施設方針・テーマ

(1) 施設方針

- ・ ご利用者への懇切、丁寧、誠実な対応
- ・ 安全管理とコンプライアンスの徹底
- ・ 人間力の強化による、風通しのよい職場

(2) テーマ

『ご利用者の満足・ご家族の安心・地域の信頼・笑顔の職場』

3. 実施事業及び定員

(1) 救護施設	定員70名
(2) 就労継続支援(B型)事業	定員25名
(3) 生活介護事業	定員15名
(4) 日中一時支援事業	定員15名
(5) 共同生活援助事業	定員14名

4. 重点目標

抱負・目標

役割や楽しみを提供し、安心して利用していただける施設作り。

口腔ケアを継続して実施し、健康の維持やQOLの向上を目指す。

(1) 人材育成と職場定着

- ◆ Web研修の活用を含め各種研修会へ積極的に参加し、専門性の向上を図る。
また、精神科領域における包括的暴力防止プログラム(CVPPP)を受講し、対処技能を習得する。
- ◆ 先輩職員によるサポート制度やOJT等を充実させ、人材育成に努める。
- ◆ ストレスチェックや職員アンケートを実施しながら、笑顔で働ける職場の環境改善や健康の維持・増進、職場定着に努める。

(2) 利用者へのサービス提供(顧客満足・質の向上)

- ◆ 救護施設からグループホーム、そして地域生活への移行や高齢施設への移行など循環型施設としての役割を果たす。
- ◆ 就労継続支援B型事業・生活介護事業・日中一時支援事業においては、

安定した作業量の確保やレクリエーションの充実を図りながら生活介護事業の作業を継続する。

- ◆ 全事業が福祉サービス第三者評価を受審(自己評価)し、気づきと改善を繰り返しながら満足度及びサービスの質の向上を図る(苦情・虐待防止)。また、施設の「見える化」を進める。
- (3) リスク対策(感染・安全・災害等)
- ◆ ご利用者の作業中の怪我及び労働災害、交通事故防止のため、KYTによりヒヤリハットの気づきを持ち、職場環境の整備に努める。
 - ◆ 各種災害(防犯)に備えた訓練を実施し、職員の行動確認と避難方法等の熟知に努める。
 - ◆ 新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等感染症の発生や蔓延防止に年間を通して努め、感染症発生時の業務継続計画の見直しや訓練を実施する。
- (4) 施設・設備整備
- ◆ 入所者の生活環境改善を行う。(居室のフローリング工事、分煙機の設置)
 - ◆ 防犯対策として、防犯カメラの増設及びフェンスを設置する。
 - ◆ 老朽化・塩害対策等の大規模修理を検討し、中長期計画で実施する。(定期巡視と更新等の目安とする一覧表の作成)
- (5) 地域連携・社会貢献
- ◆ えんくるり事業等に参画しながら地域の生活困窮者支援の推進を図る。(居宅生活訓練事業用アパートの空き部屋利用、就労支援の製品提供、ボランティア活動の受入れ)
 - ◆ 米子東病院等の西部地区施設と連携を図り、医療や災害、地域交流等の体制を構築する。
 - ◆ 実習生等を積極的に受入れ、施設の活性化及び、施設の理解へ繋げる。
- (6) 経営管理
- ◆ 予算執行の進捗管理等により、適正な執行に努める。
 - ◆ 各事業について、目標としている稼働率の達成を目指す。
 - ◆ 障害福祉サービス報酬改定、保護施設事務費改定における請求ミスゼロを目指す。

5. 新規事業

なし